

みずほCustomer Desk Report 2022/09/16号 (As of 2022/09/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	143.33 AUD/USD
TKY 9:00AM	142.93	0.9980	142.66	1.1536	0.6753
SYD-NY High	143.80	1.0018	143.62	1.1549	0.6771
SYD-NY Low	142.80	0.9956	142.60	1.1461	0.6696
NY 5:00 PM	143.49	0.9995	143.43	1.1472	0.6701
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,961.82	▲ 173.27	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,552.36	▲ 167.32	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,901.35	▲ 44.66	米国2年債	3.8604%	0.0744%
日経平均	27,875.91	57.29	米国5年債	3.6610%	0.0619%
TOPIX	1,950.43	2.97	米国10年債	3.4470%	0.0446%
ソコ日経先物	27,495.00	▲ 260.00	独10年債	1.7365%	0.0430%
ロンドンFT	7,282.07	4.77	英10年債	3.1625%	0.0295%
DAX	12,956.66	▲ 71.34	豪10年債	3.6690%	▲0.0340%
ハンセン指数	18,930.38	83.28	USDJPY 1M Vol	13.50%	▲0.51%
上海総合	3,199.92	▲ 37.62	USDJPY 3M Vol	12.72%	▲0.06%
NY金	1,677.30	▲ 31.80	USDJPY 6M Vol	11.86%	▲0.06%
WTI	85.10	▲ 3.38	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	281.00	▲ 5.33	EURJPY 3M Vol	13.08%	0.17%
ドルインデックス	109.74	0.08	EURJPY 6M Vol	12.74%	0.19%

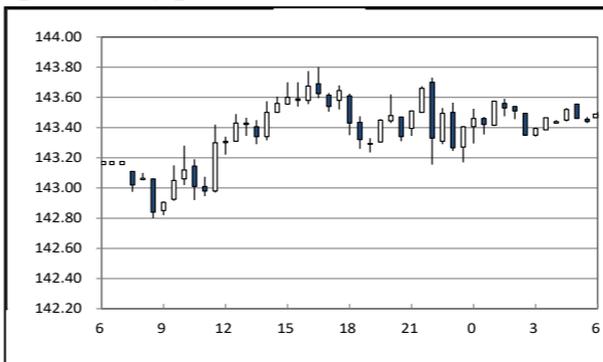
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月15日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥2817.3b	-¥2385.7b
	10:30	豪 雇用者数変化	8月 33.5k	35.0k
	10:30	豪 失業率	8月 3.5%	3.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	10-Sep 213k	227k
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	9月 -1.5	-12.9
	21:30	米 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	-0.1%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	9月 -9.9	2.3
	22:15	米 鋳工業生産(前月比)	8月 -0.2%	0.0%

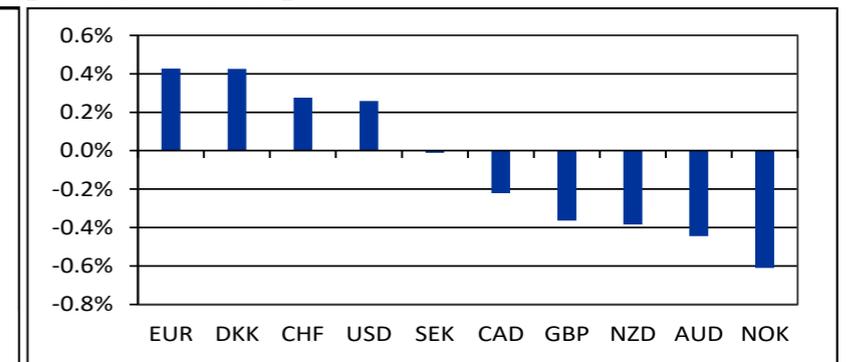
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月16日	11:00	中 鋳工業生産(前年比)	8月 3.8%	3.8%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	8月 3.2%	2.7%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	8月 9.1%/0.5%	9.1%/0.5%
	18:00	欧 コアCPI・確報	8月 4.3%	4.3%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 60.0	58.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.80-144.30	0.9990-1.0030	142.50-144.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はやや値を上げる展開。東京時間142.93でオープン後、前日の円買いの流れが一巡する中、じりじりと上昇。ただ当局による円安牽制に対する警戒感もあってか、これまでのような勢いで上値を追う展開とはならず、上昇も143.80まで。終始底堅さを感じる値動きとなったものの、海外時間に発表された複数の経済指標でも明確な方向感はず。その後143円台での推移が続き、143.49でクローズした。本日のドル円も比較的狭いレンジでの値動きを予想。円安牽制発言や米国時間に予定されているミシガン大学消費者マインドや期待インフレ率等の結果により、瞬間的にはボラタイルな展開になることも想定される。ただ来週にFOMCとBOJを控え、ドル円はそもそも方向感が出づらい状況。依然として高いFOMCでの利上げ期待によるドル買いと当局に対する警戒感による円買いが交錯し、方向感のない値動きが基本線となるのではないかと。

東京	東京時間のドル円は142.93レベルでオープン。米金利の上昇を背景に多くの通貨でドル買いが優勢。日本の8月の貿易赤字が過去最大となったことによる需給面を意識した円売りにもサポートされ、ドル円は底堅い推移。ただ当局による円安牽制に対する警戒感もあってか、じりじりと上値を切り上げる値動きに留まり上昇も143.70まで。結局143.58レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.58レベルでオープン。午後に米指標を控えて方向感のない推移。143.24-80円で取引されほぼ変わらずの143.50レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台前半でスタート。一時142円台後半まで沈む場面もあったが、昨日のレートチェック報道を嫌気した円買いが次第に一巡し、143.80まで反発。その後は143円台半ばでもみ合い、143.50レベルでNYオープン。朝方は複数の米経済指標が発表され、米失業保険の新規申請件数・継続受給者数、米8月小売売上、9月NY連銀製造業景気指数は予想ほど悪い結果ではなかったが、9月フィラデルフィア連銀景況指数は予想を下回った。ドル円はまず買いで反応し、高値143.73をつけるも、総じて強弱まちまちの結果だったことから買いは長続きせず、その後143.16まで反落。午後は新規手がかかり材料待ちで143円台半ばで方向感無く推移。結局、143.49レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.99レベル後半でスタート。前日安値(0.9956)手前の0.9957まで下落する場面もあったが、その後は欧州株の堅調推移やユーロクロスの買い戻しにサポートされ1.000まで反発後、0.9986レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指標発表後にドル売りに振れ、パリティレベルを回復するもすぐにパリティ割れとなる。その後はパリティレベルを挟んで膠着状態が続く。手掛かり材料難で最後まで方向感はず、結局、0.9995レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・多川